

2025年の崖を飛び越えろ IBM Cloud Paks

<p>IBM Cloud Pak for Applications</p> <ul style="list-style-type: none"> 開発者向けツール モダナイゼーションツールキット フレームワーク、ランタイム <p>コンテナ化済 IBMソフトウェア</p> <p>共通の運用サービス</p> <p>コンテナ・プラットフォーム Red Hat OpenShift</p>	<p>IBM Cloud Pak for Data</p> <ul style="list-style-type: none"> データの編成 解析 収集 <p>コンテナ化済 IBMソフトウェア</p> <p>共通の運用サービス</p> <p>コンテナ・プラットフォーム Red Hat OpenShift</p>	<p>IBM Cloud Pak for Integration</p> <ul style="list-style-type: none"> API ライフサイクル メッセージング / イベント アプリとデータの統合 <p>コンテナ化済 IBMソフトウェア</p> <p>共通の運用サービス</p> <p>コンテナ・プラットフォーム Red Hat OpenShift</p>
<p>IBM Cloud Pak for Automation</p> <ul style="list-style-type: none"> コンテンツ管理 業務意思決定 ワークフロー意思決定 <p>コンテナ化済 IBMソフトウェア</p> <p>共通の運用サービス</p> <p>コンテナ・プラットフォーム Red Hat OpenShift</p>	<p>IBM Cloud Pak for Multicloud Management</p> <ul style="list-style-type: none"> マルチクラスター管理 アプリケーションと基盤 セキュリティ・コンプライアンス管理 <p>コンテナ化済 IBMソフトウェア</p> <p>共通の運用サービス</p> <p>コンテナ・プラットフォーム Red Hat OpenShift</p>	<p>IBM Cloud Pak for Security</p> <ul style="list-style-type: none"> インシデント・レスポンス オークストレーション フェデレーション調査とサーチ <p>コンテナ化済 IBMソフトウェア</p> <p>共通の運用サービス</p> <p>コンテナ・プラットフォーム Red Hat OpenShift</p>

開発期間を84%短縮、運用コストを75%削減可能に
マルチクラウド対応の次世代システム基盤

[2025年の崖とは…]

2018年に経済産業省が作成したレポート「DXレポート ～ITシステム「2025年の崖」克服とDXの本格的な展開～」の中で、企業の国際競争力を高めるための阻害要因として、老朽化した基幹システムや人材不足による先進技術への対応の遅れなどが挙げられており、そのタイムリミットを『2025年の崖』と表現しています。また企業に対しては、生産性の高いクラウド・ネイティブなアプリケーションの導入や基幹システムのモダナイゼーション化の必要性を訴求しています。

2025年の崖を飛び越えるために…

【課題と解決策】

約8割の企業は、旧来のレガシーなシステムを基幹システムとして使い続けており、維持管理費の高騰やデジタルトランスフォーメーション(DX)を行う機会を損失してます。DXとして、先端技術を取り入れたシステム導入、レガシーなシステムの刷新(モダナイゼーション)を実現するには、以下の課題を解決する必要があります。

<主な課題>

<解決策>

先端技術(AI、クラウド、IoT)によるシステムをスピーディーに構築

旧来のレガシーなシステムのモダナイゼーションを実現

人材不足

ベンダーロックイン

ウォーターフォール型の開発

モノリシックなシステム

マルチ・ハイブリッドクラウド

マイクロサービス

アジャイル開発

コンテナ + Kubernetes

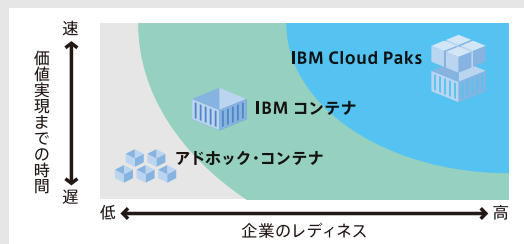
IBM Cloud Paks による解決策

コンテナ・プラットフォーム
Red Hat OpenShift

Red Hat OpenShiftをプラットフォームに採用

- ▶ Kubernetes (K8S) をエンタープライズレベルでサポート*
- ▶ Kubernetes によりマルチ・ハイブリッドクラウドを実現
- ▶ OpenShift に実装可能なコンテナのIBMソフトウェアを提供

*通常のK8Sは、現行バージョンのサポート期間は1年未満、OpenShiftでは、K8Sの現行バージョンを長期サポートします。



IBM Cloud Paks でコンテナ化されたソフトウェアのメリット

開発期間を84%短縮、運用コストを75%削減可能！
マルチクラウド対応の次世代システム基盤

IBM containerized software

セキュリティ準拠
オープンソース・コンポーネント含めパッケージ

Container platform and operational services
(コンテナ向け共通管理基盤)

ロギング、モニタリング、利用量計測、セキュリティ・アイデンティティ管理、イメージ・レジストリを統合

Red Hat OpenShift

- IBM Cloud
- AWS
- Azure
- Google
- Edge
- Private
- On-Prem



包括的でシンプル

アプリケーション、データ、AIサービスが完全にモジュール化され利用が容易



IBM認定済

ソフトウェアをフルスタックでサポート。継続的なセキュリティアップデート、コンプライアンス対応、バージョンの継続的な互換性



どこでも稼働

オンプレミス、プライベートクラウド、パブリッククラウド、統合型システム

*パブリッククラウドとして、IBM Cloud, Amazon EC2, Microsoft Azure Virtual Machines, Google Compute Engine, Oracle Cloud以外への導入を検討する場合は、別途お問合せ下さい。

IBM Cloud Paks で 利用可能な主要ライセンス

(2019年11月15日時点の情報)

IBM Cloud Paks 共通

- ・システム環境の移行に応じて、対象ライセンスを柔軟に組み替え利用
- ・保有済みのライセンスからトレードアッププログラムによる移行が可能
- ・Red Hat OpenShift ライセンスがバンドル(一部限定利用のPak有)

IBM Cloud Pak for Applications

- ▶ IBM WebSphere Application Server (ND, Base, Liberty Core)
- ▶ IBM Mobile Foundation
- ▶ Kabanero Enterprise (Swift, Java, Node.js, Spring 等)
- ▶ Transformation Advisor ツール

IBM Cloud Pak for Data

- ▶ IBM Cognos Dashboards
- ▶ IBM Db2 Warehouse
- ▶ IBM Watson Studio
- ▶ IBM Watson Machine Learning
- ▶ IBM Watson Knowledge Catalog
- ▶ OSS (Python, RStudio, Spark)

IBM Cloud Pak for Integration

- ▶ IBM MQ Advanced
- ▶ IBM API Connect Enterprise
- ▶ IBM App Connect Enterprise
- ▶ IBM Event Streams
- ▶ IBM Aspera
- ▶ IBM DataPower Gateway

IBM Cloud Pak for Automation

- ▶ IBM Business Automation Workflow
- ▶ IBM Operational Decision Manager
- ▶ IBM FileNet Content Manager
- ▶ IBM Business Automation Insights

IBM Cloud Pak for Multicloud Management

- ▶ IBM Cloud Automation Manager
- ▶ IBM Multicloud Manager
- ▶ IBM Cloud App Management
- ▶ IBM Cloud Event Management

IBM Cloud Pak for Security

- ▶ IBM Security Data Explorer
- ▶ IBM Resilient SOAR Platform

株式会社ネットワークワールド <https://www.networkid.co.jp/>

お問い合わせ ibm-info@networkid.co.jp

本社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-11-15 住友商事神保町ビル TEL:03-5210-5020,5031,5095

関西支店 〒530-0001 大阪市北区梅田3-3-20 明治安田生命大阪梅田ビル 24F TEL:06-7664-5400

中部支店 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-17-23 ニックビル 10F TEL:052-588-7611

九州支店 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-6-1 九勤筑紫通ビル 3F TEL:092-461-7815